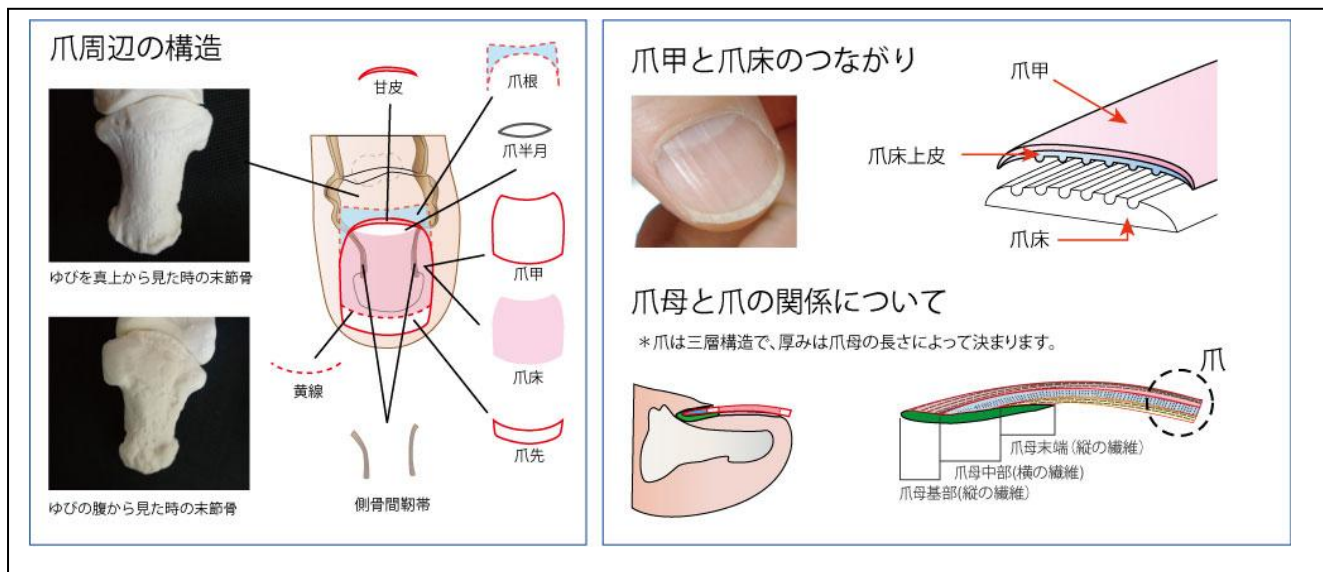
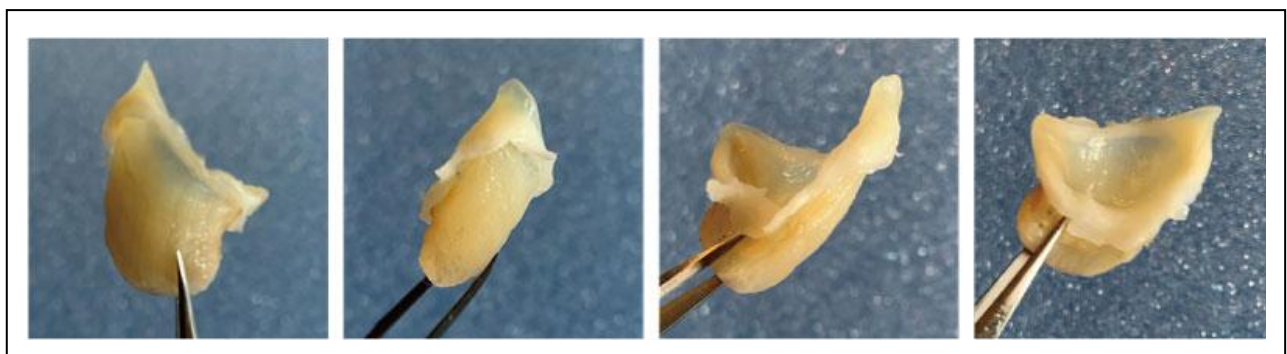


私は長年「爪母の本当の位置はどこにあるのだろう」と考え続けてきました。



医学書にも上記のような説明がされています。
しかし、これが「爪母ですよ」という画像は見たことが無い



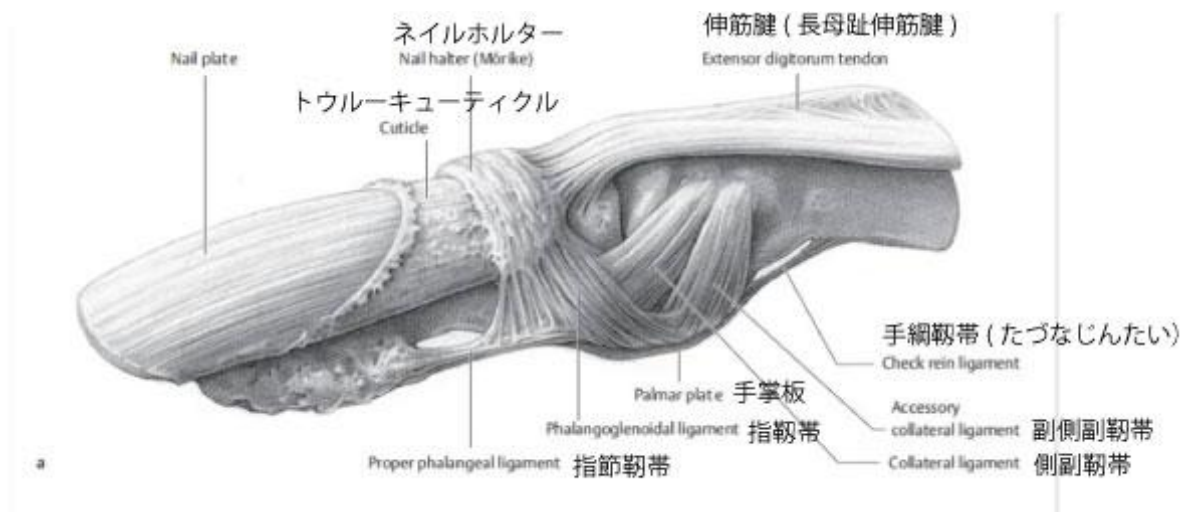
これは爪根を包み込んでいる皮膚組織です
一瞬これが爪母か？と思ったりもしたが、
もし爪母なら、全抜爪した爪は二度と生えて来なくなるはずですが、
ところが、その後も爪は生えてきます。

ここから先は私の推測です

爪母上皮であるという説もあるが、
これが爪母の一部であるならその下に爪母上皮になる前の組織があるはずだが、抜爪をする時の動作でこんなにも綺麗に剥がれる
ものでしょうか???

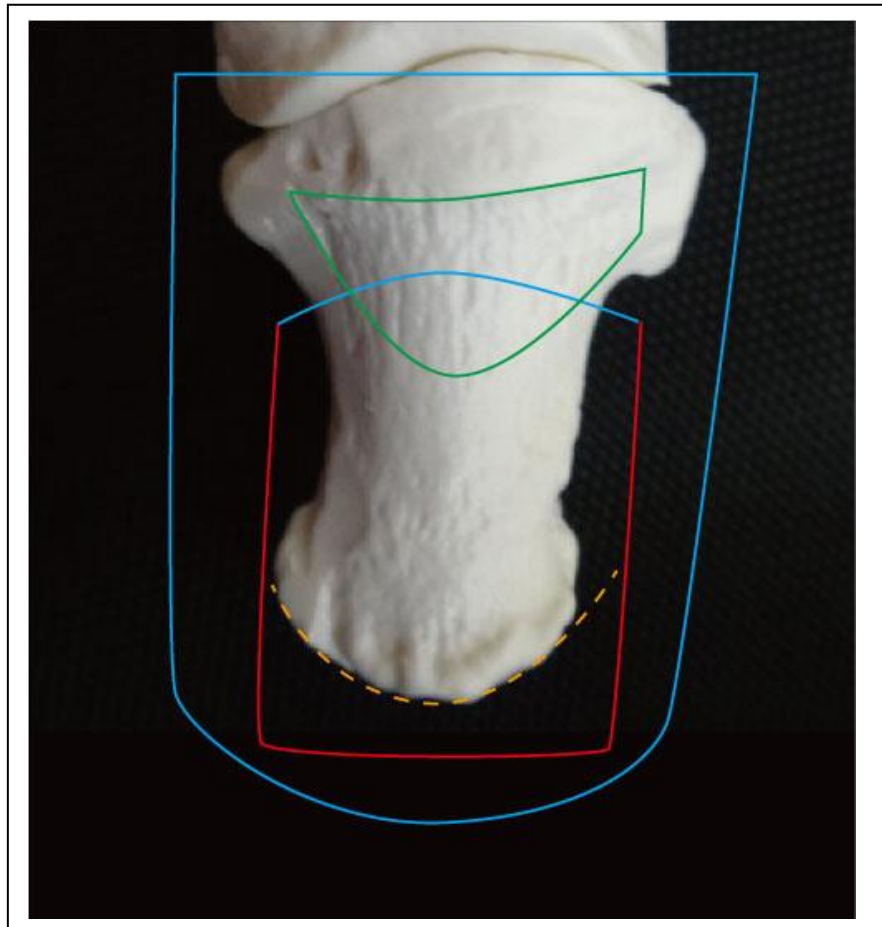
皮膚組織と同じように考えた時に
爪母上皮でも無いような気がしています

しかし、この皮膚組織は末節骨の関節の骨膜にしっかりとついている



といったことから、
爪根を包み込んでいる皮膚組織と末節骨との僅かの隙間に

爪母あるのだろうと推測しています



緑のラインの範囲が爪母の有った場所ではないかと推測しています
理由はその部位の骨が他の骨とは違う表面の状態を呈している

何もない場所にはこのような特徴的な表面構造はあまり作りません。

多くの場合、腱 靱帯 骨膜 特殊な結合組織
などが付着する場所の特徴的な表面になります。

ですから、

「この部位は何らかの重要な組織と密接に関係している」
という推測は自然です。

但し、それが「爪」や「爪根を包みこんでいる皮膚組織」のように

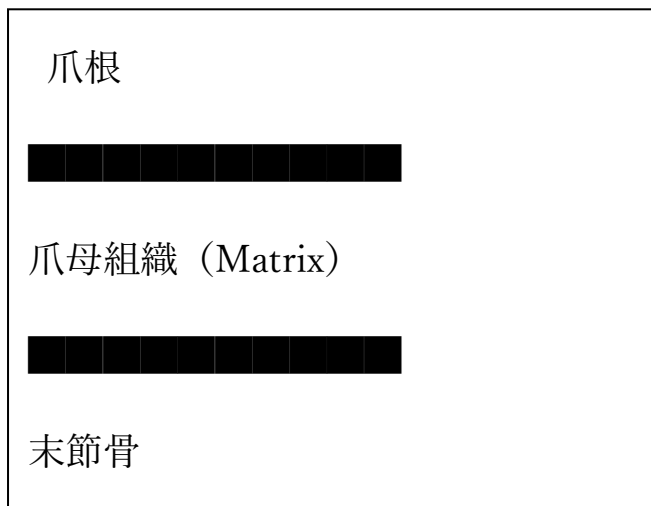
ハッキリとした形をしているとは限らないと思っています

細胞からみた場合

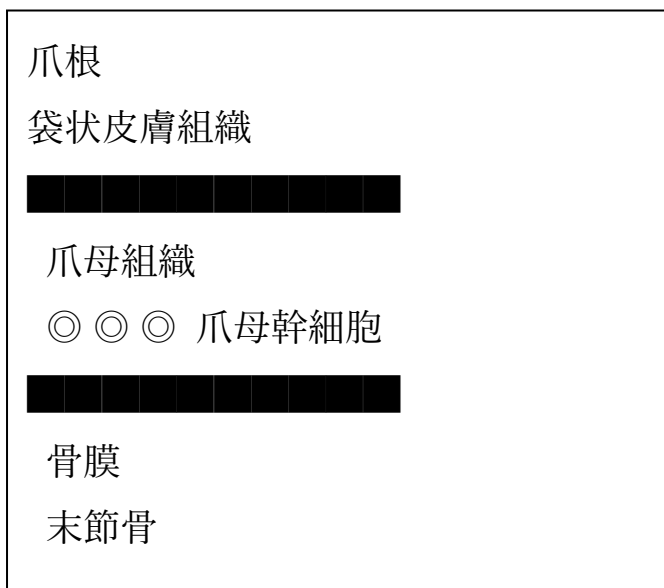
爪母組織の中にある幹細胞が、新しい爪母細胞を供給し、
爪母組織そのものを維持している。

その爪母細胞が
爪母細胞が増殖・分化しながら ケラチン（爪）を作る

では爪母組織はどこにあるのか？



このように考えられているけれど



このような構造ではないだろうか
と推測しています

では爪母細胞はどのようにして爪を作っているのか



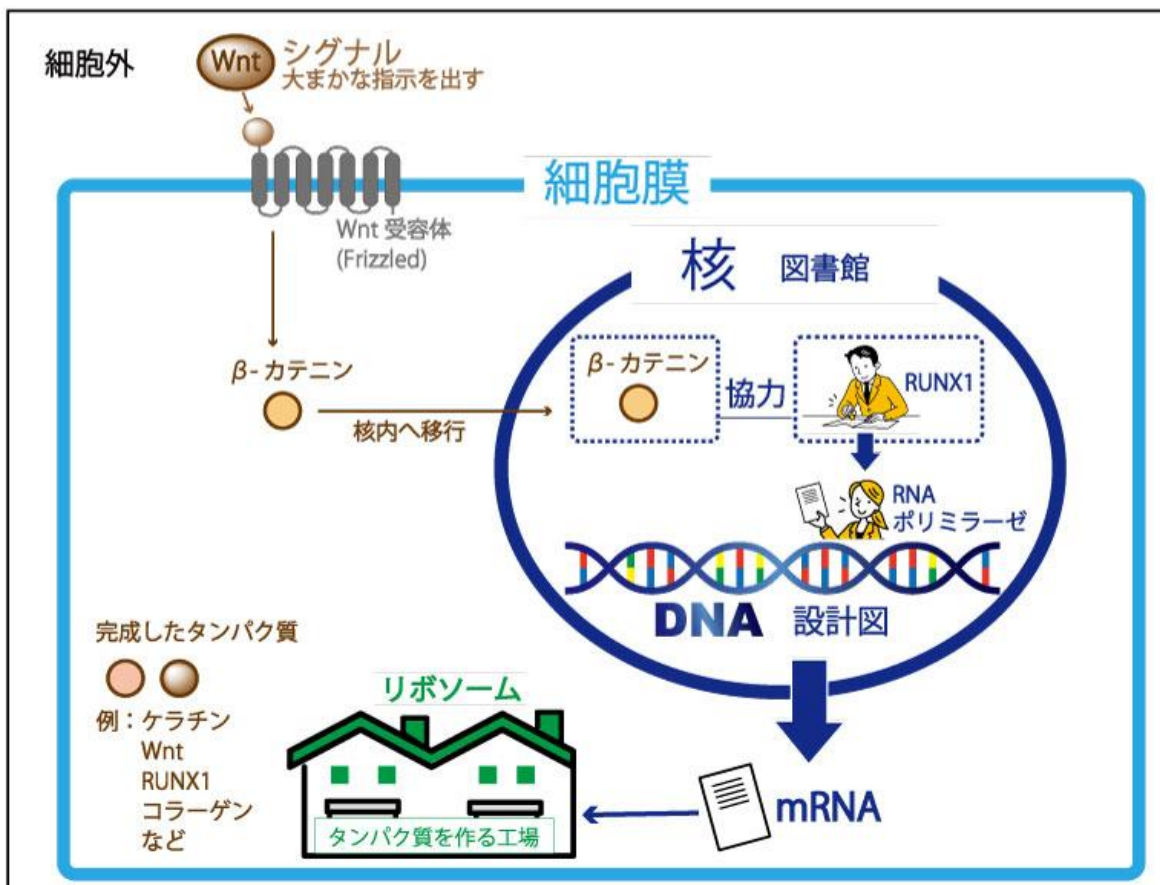
RUNX1 / (転写因子)
(専門司書)
どの本を読むかを決定する人
RNA ポリミラーゼを DNA に導
いて仕事を指示する



RNARNA ポリメラーゼ (コピー担当)
核内に沢山居ます
DNA の情報を mRNA にコピーします



mRNA (メッセンジャー RNA)
DNA からコピーされた情報



ラットでの実験

